

日田 川・まち みらいづくり懇談会



～第2回～

平成18年3月13日

H18.03.09

第1回懇談会のまとめ (平成18年1月11日)

～第1回懇談会での主な意見～

河川管理

- ・市街地区間だけでなく上流の整備も行なってほしい。
- ・整備が行われていない場所の整備を行ってほしい。
- ・浚渫を行なってほしい。

河川利用

- ・子供たちが遊べるような水量の確保を行なってほしい。
- ・庄手川を川に入れるように整備してほしい。

河川環境

- ・釣りができるように魚が棲めるような環境にしてほしい。

その他

- ・危険水位の表示を行なってほしい。
- ・緊急時の避難体制の整備を行ってほしい



懇談会風景



懇談会風景

第1回懇談会のまとめ (平成18年1月11日)

～アドバイザーの先生方からの主な意見～

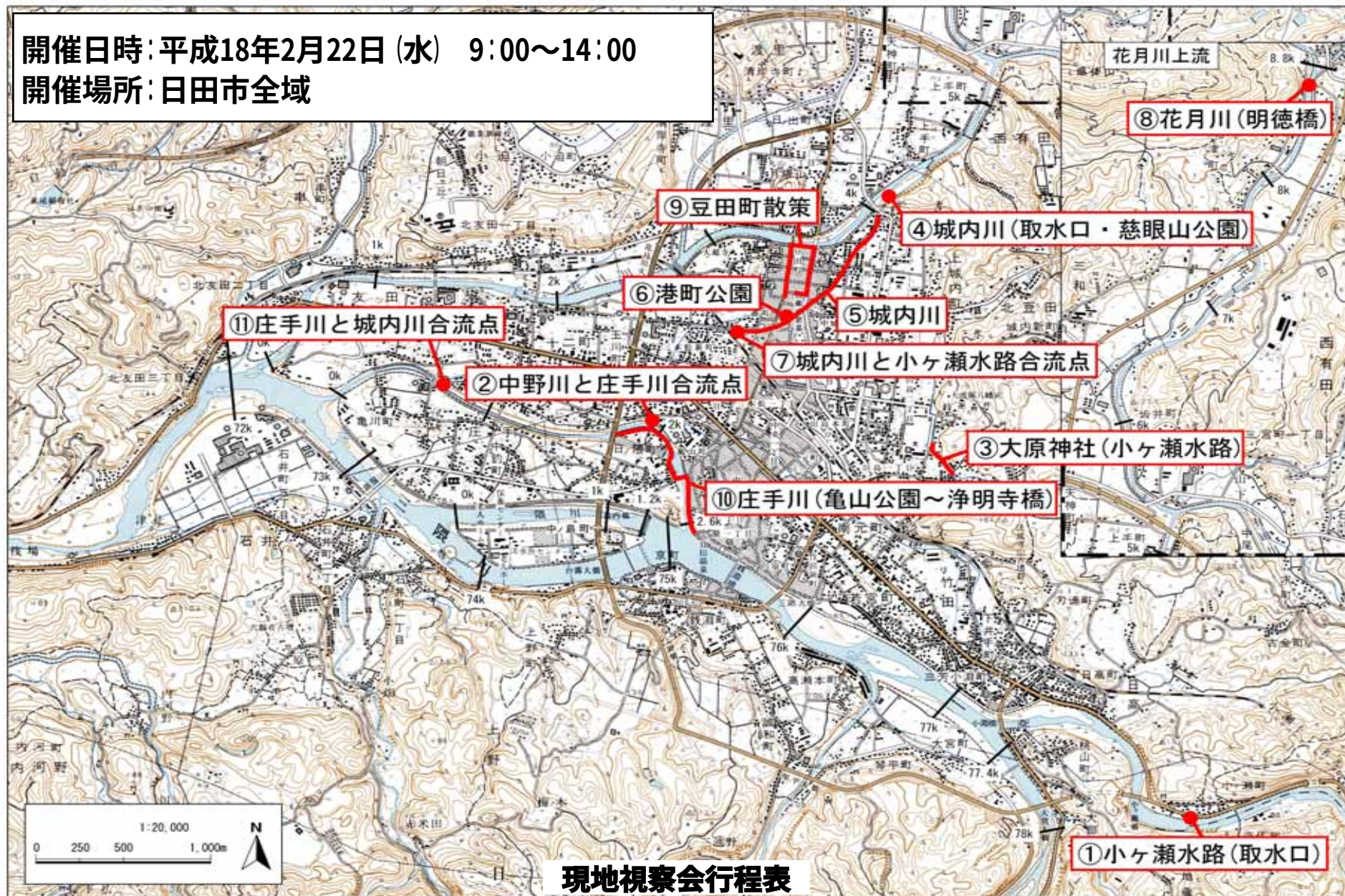
- ・各委員の大事にしたい事柄の種類が多い
- ・過去の歴史的背景にあった川づくりが大事
- ・地域の人々の人生プランに合わせた川づくりを行なう必要がある
- ・目標を沢山かけると、活動が立体的に広がるのではないかな
- ・予め避難水位を住民に周知させておくといいのでは
- ・避難の周知の方法として「半鐘」を復活させてはどうか
- ・浮泥や藻によって、実際の水質より汚く感じる
- ・ソフト的対策で、川を活用していくことは可能
- ・散策したい気持ちを起こさせることが大事



～川まち現地視察会～ (平成18年2月22日)

開催日時:平成18年2月22日(水) 9:00～14:00

開催場所:日田市全域



川まち現地視察会のまとめ (平成18年2月22日)

～第2回懇談会での主な意見～

- ・同じ水質であっても、流れがあるときれいに見える
- ・水路が分岐と合流を繰り返しているが、絶妙な流量配分となっている
- ・川沿いにゴミ捨て場があると、川や水路にゴミが入る恐れがある
- ・公園や河川内の看板は景観と調和するような工夫が必要である
- ・堰の落差などによる水の音は心地よい
- ・庄手川を自然な川にできないか



現地視察会風景



水路沿いのゴミ捨て場

川まち現地視察会のまとめ (平成18年2月22日)

～アドバイザーの先生方からの主な意見～

- ・水路の実態調査を行なうべき
- ・庄手川の将来像をじっくり詰めていくべき
- ・歩行環境をつないでいく
- ・ポイントを絞った「優れた(拠点の)デザイン」が必要
- ・暮らしの中でどう愛着を持ってもらうかがカギ
- ・歩きながら川の魅力を感じられる取り組みが必要
- ・用水路網が張り巡らされており、今後活用できる資源と思われる
- ・豆田地区の車も通行に規制が必要である
- ・城内川の水質・景観を改善すると素晴らしい水環境になるのではないか



城内川



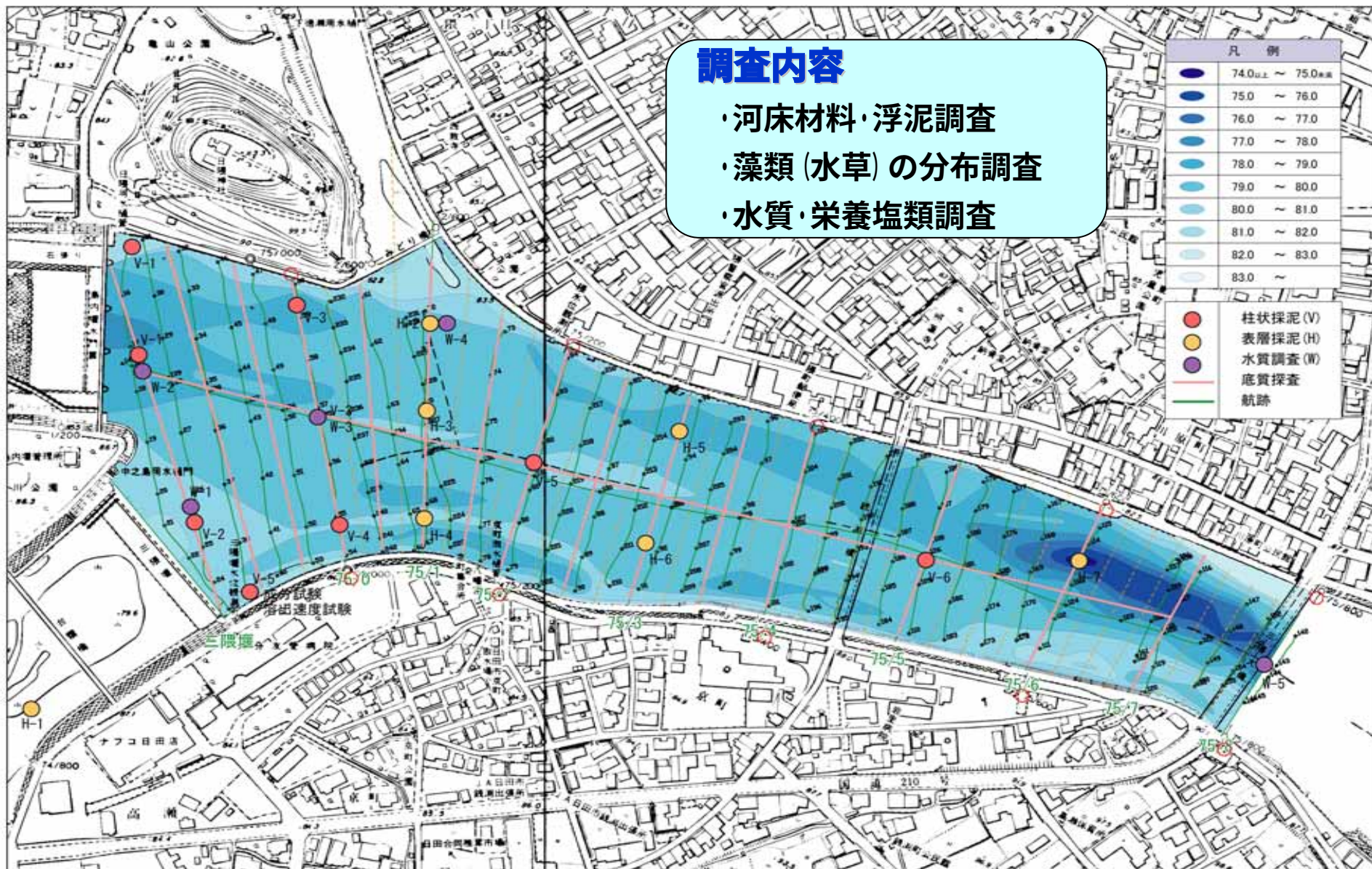
豆田の街並 (みゆき通り)

湛水域調査の概要について

調査内容

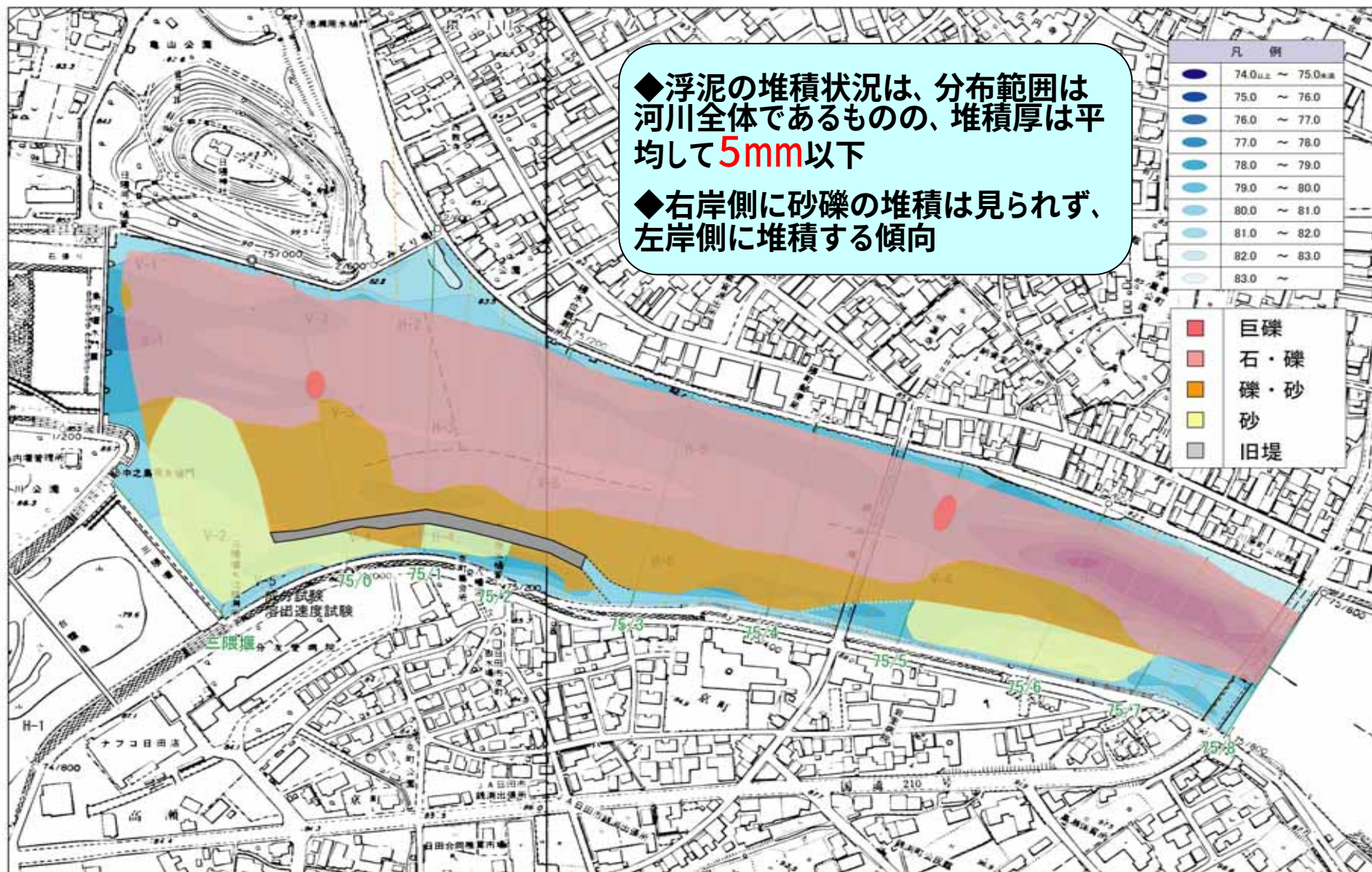
- ・河床材料・浮泥調査
- ・藻類(水草)の分布調査
- ・水質・栄養塩類調査

凡 例	
	74.0以上 ~ 75.0未満
	75.0 ~ 76.0
	76.0 ~ 77.0
	77.0 ~ 78.0
	78.0 ~ 79.0
	79.0 ~ 80.0
	80.0 ~ 81.0
	81.0 ~ 82.0
	82.0 ~ 83.0
	83.0 ~
	柱状採泥(V)
	表層採泥(H)
	水質調査(W)
	底質調査
	航跡



調査位置図

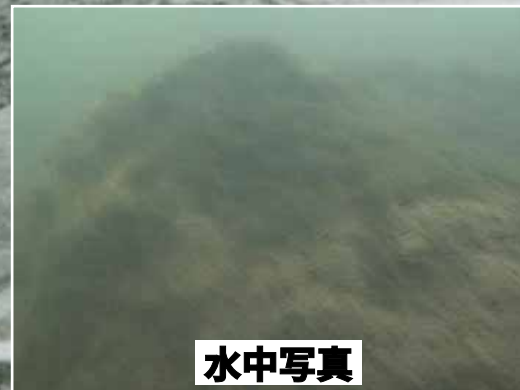
表層堆積分布調査



表層堆積分布図

旧三隈堰

旧三隈堰 (斜め堰)



水中写真

河床材料調査



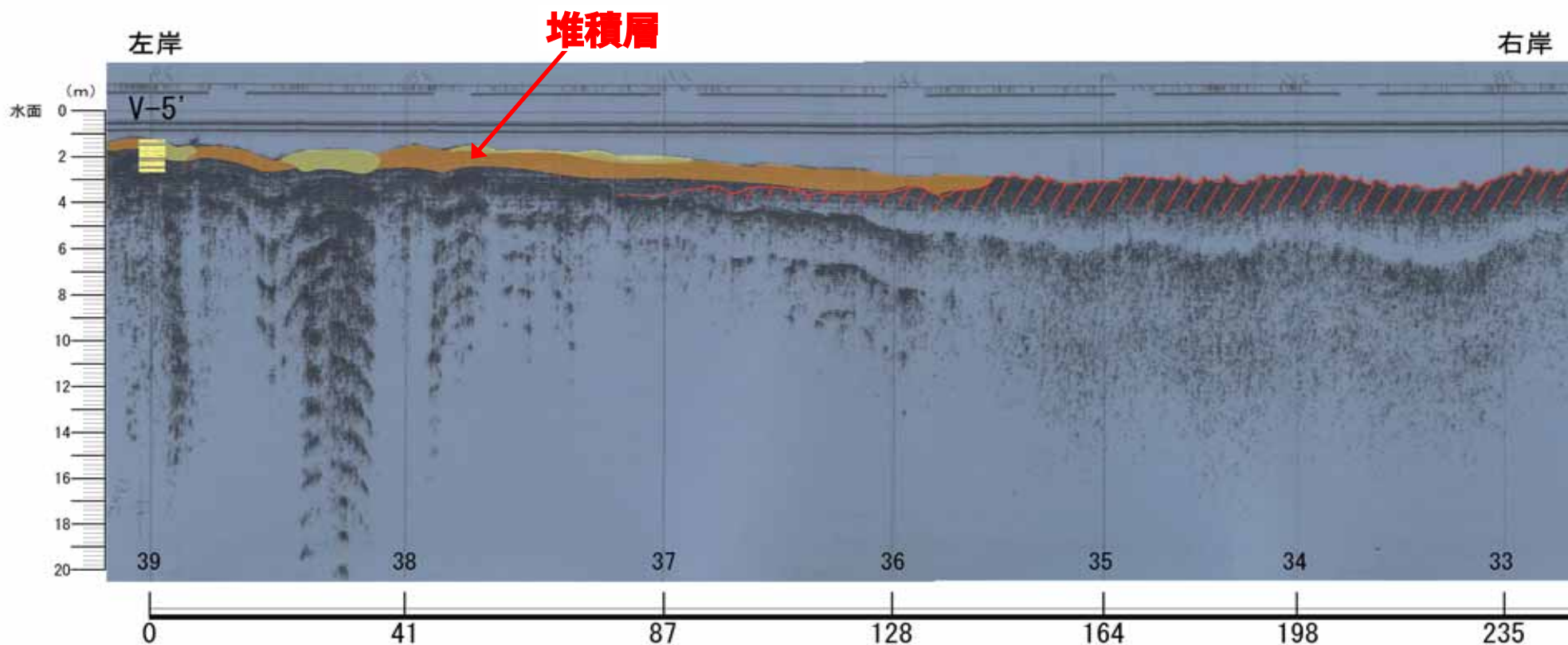
粒度試験結果図

底質調査 (音波探査)

堰上流 (74 k 900付近)

表面に1m程度の砂・礫を確認

凡 例	
層の区分と色	
■	石
■	礫
■	シルト混じり砂 シルト質砂
■	砂混じりシルト 砂質シルト
■	柱状探泥



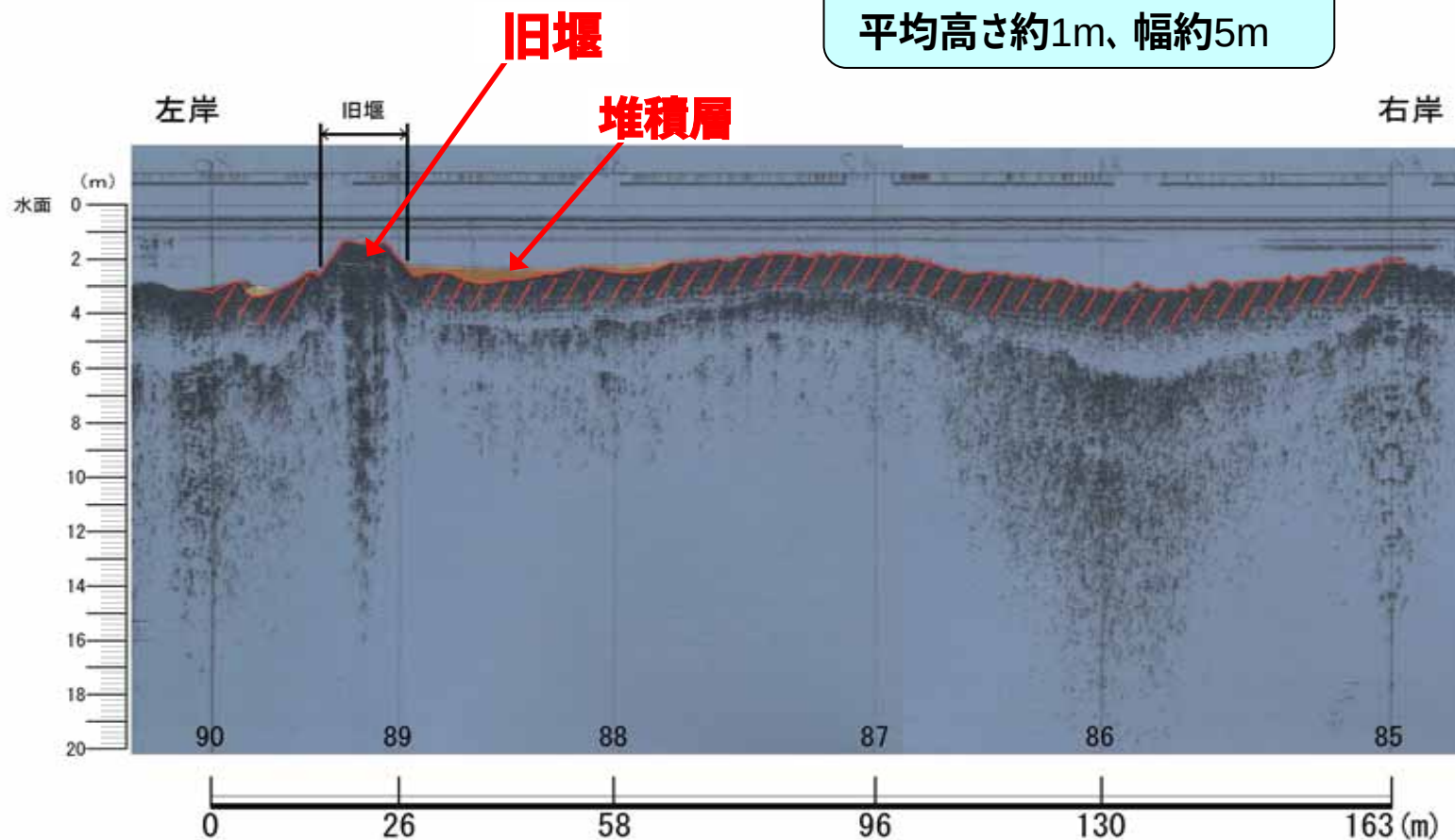
底質調査 (音波探査)

旅館街前 (75 k 250付近)

旧堰を確認

平均高さ約1m、幅約5m

凡 例	
層の区分と色	
	石
	礫
	シルト混じり砂
	シルト質砂
	砂混じりシルト
	砂質シルト
	柱状採取

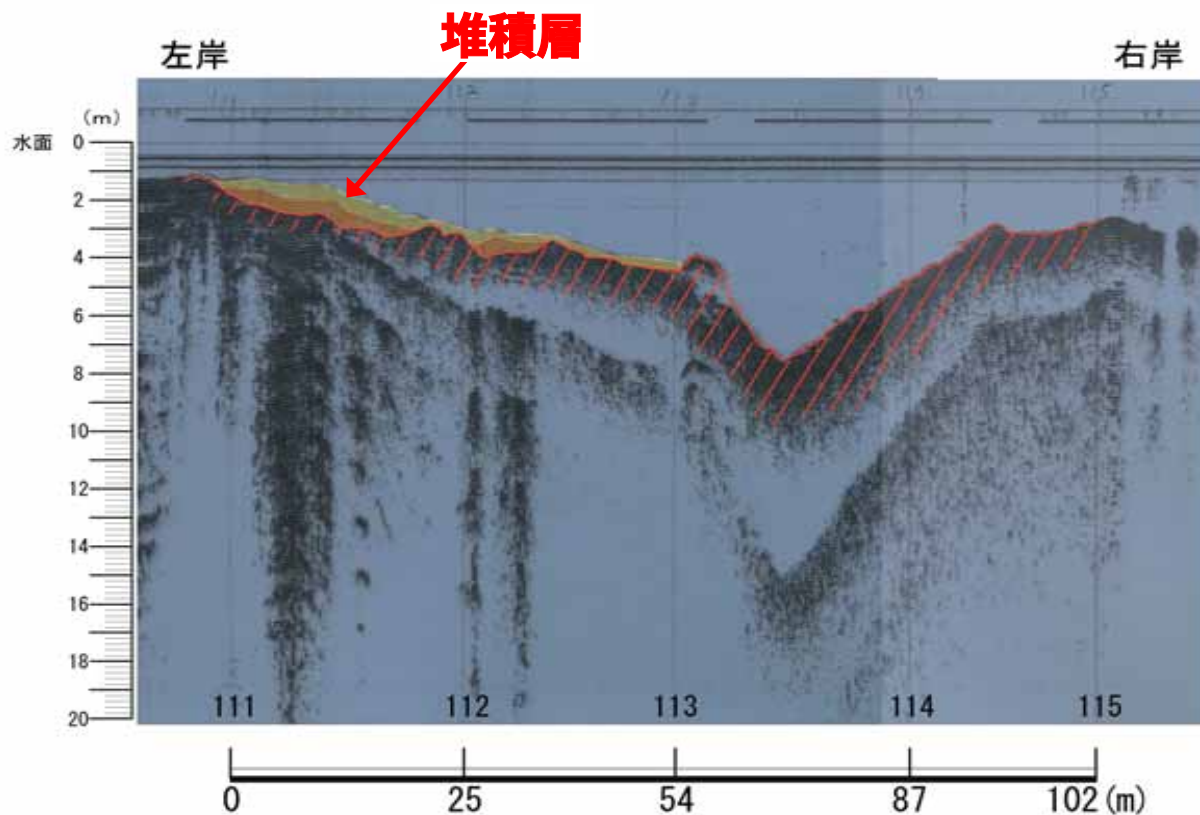


底質調査 (音波探査)

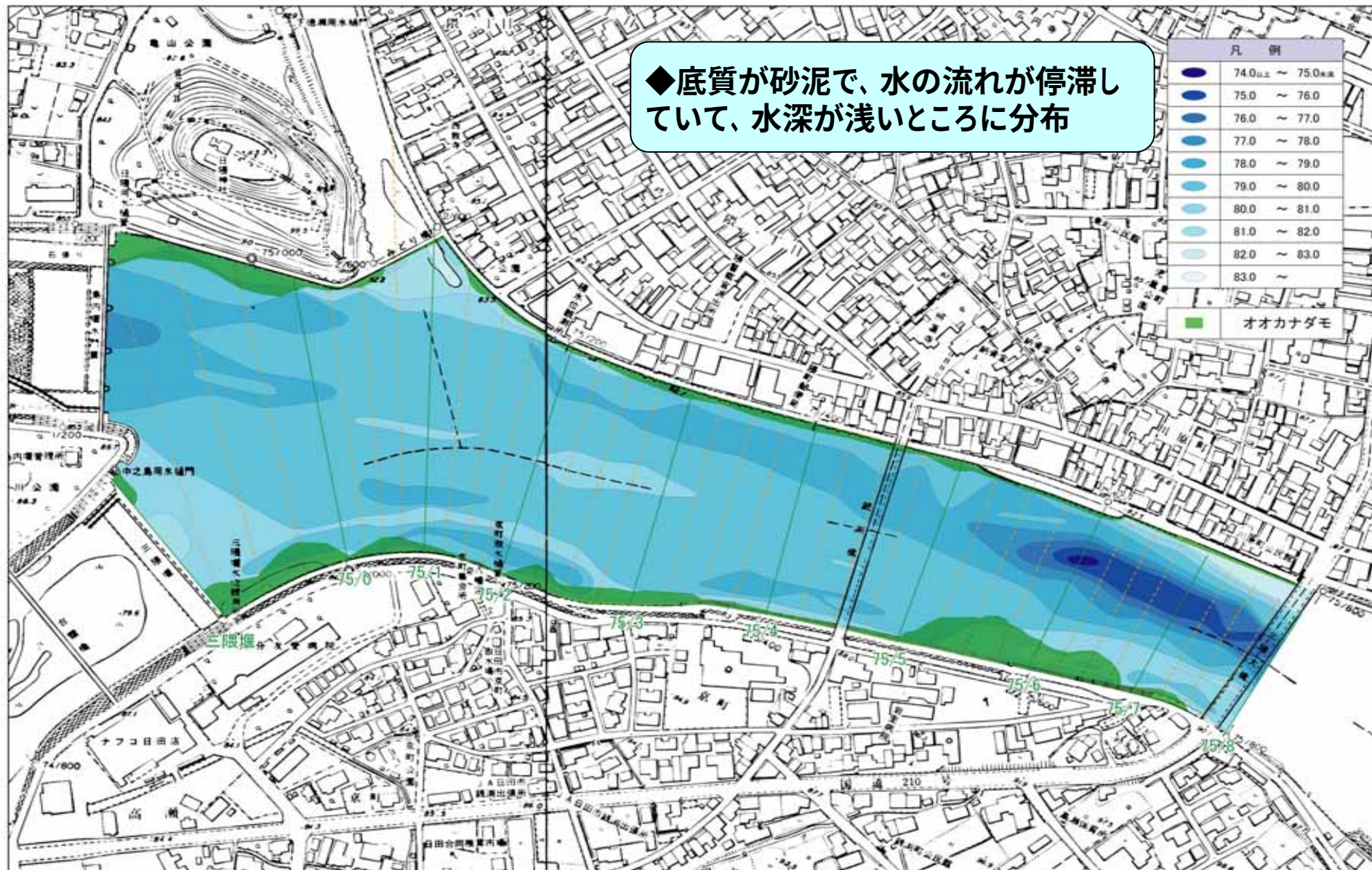
銭湊橋と三隈大橋の中間点
(75 k 600付近)

最大水深約7mの窪地を確認

凡 例	
層の区分と色	
	石
	礫
	シルト混じり砂
	シルト質砂
	砂混じりシルト
	砂質シルト
	柱状探底



藻類 (水草) の分布調査



藻類 (水草) 分布調査図

藻類 (水草) の分布調査



水中写真 (オオカナダモ)

洗浄



オオカナダモ



水中写真 (アオミドロ)

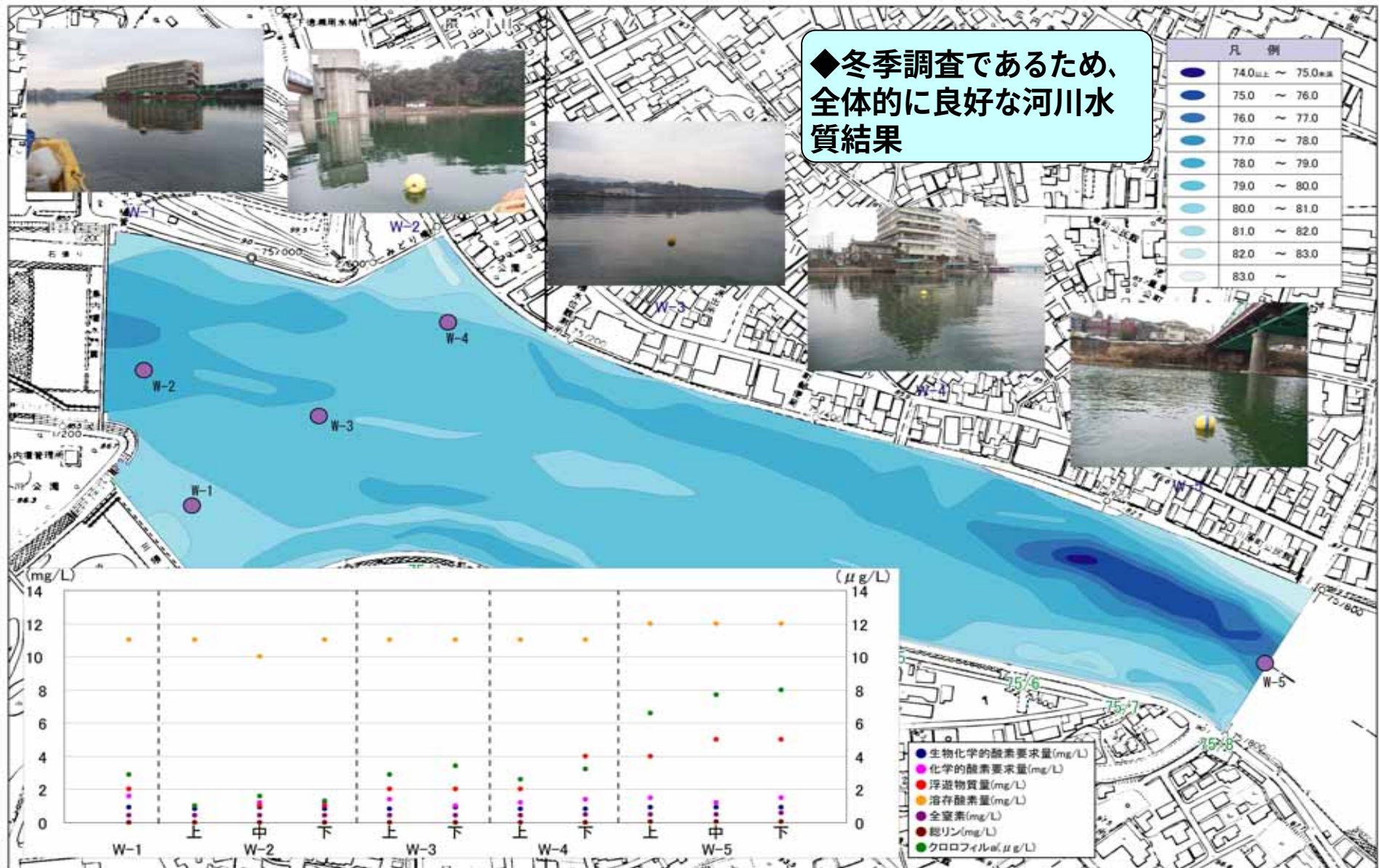
洗浄



アオミドロ

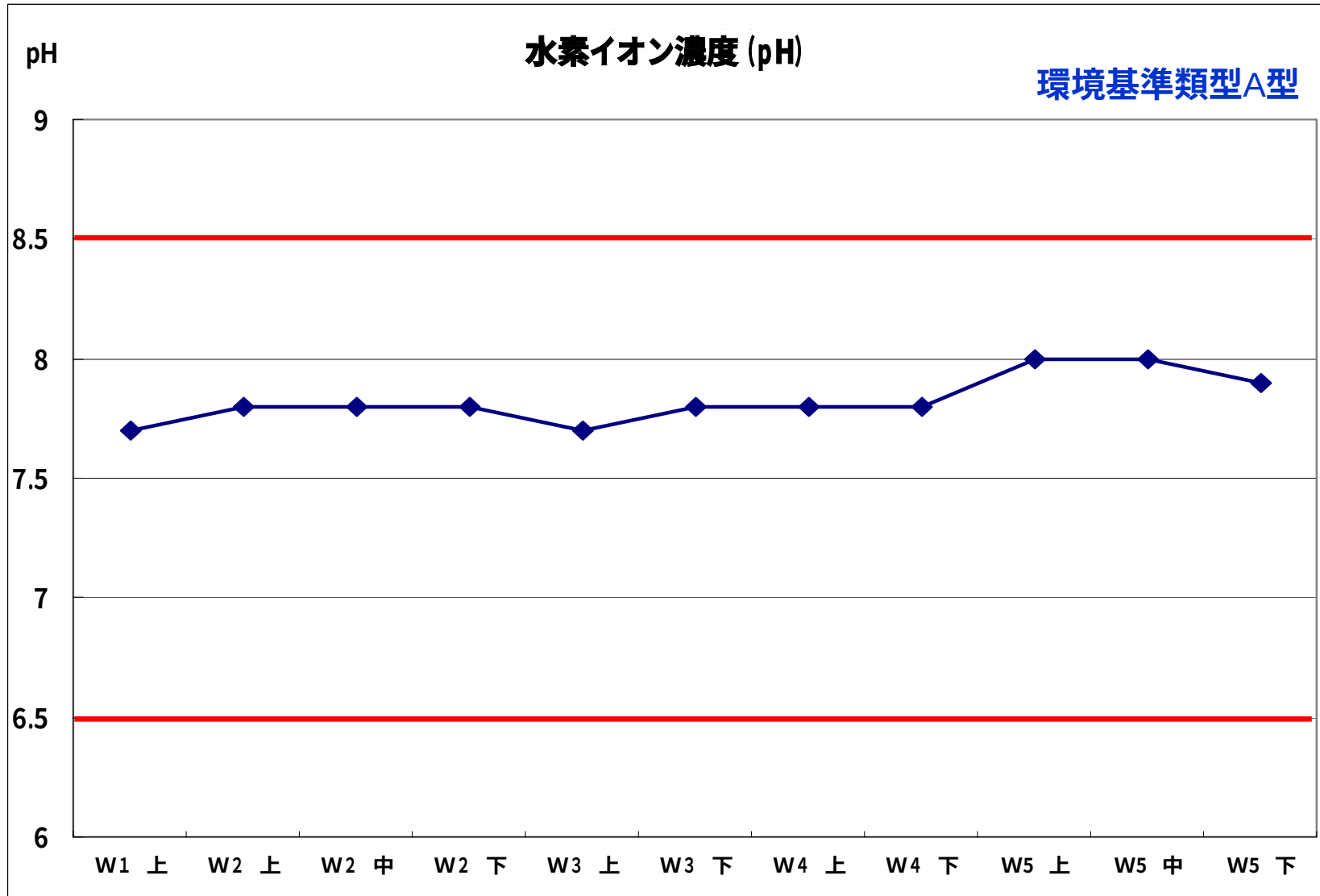
- ・オオカナダモは、元々はきれいな水草ではあるが、浮泥が付着することにより、汚く見え、浮泥の量が多いように見せると考えられます。
- ・筑後川では、筑後大堰上流の広い範囲で確認されています。
- ・無機養分の吸収力が高いため、除去すれば、水質浄化が可能です。

水質調査



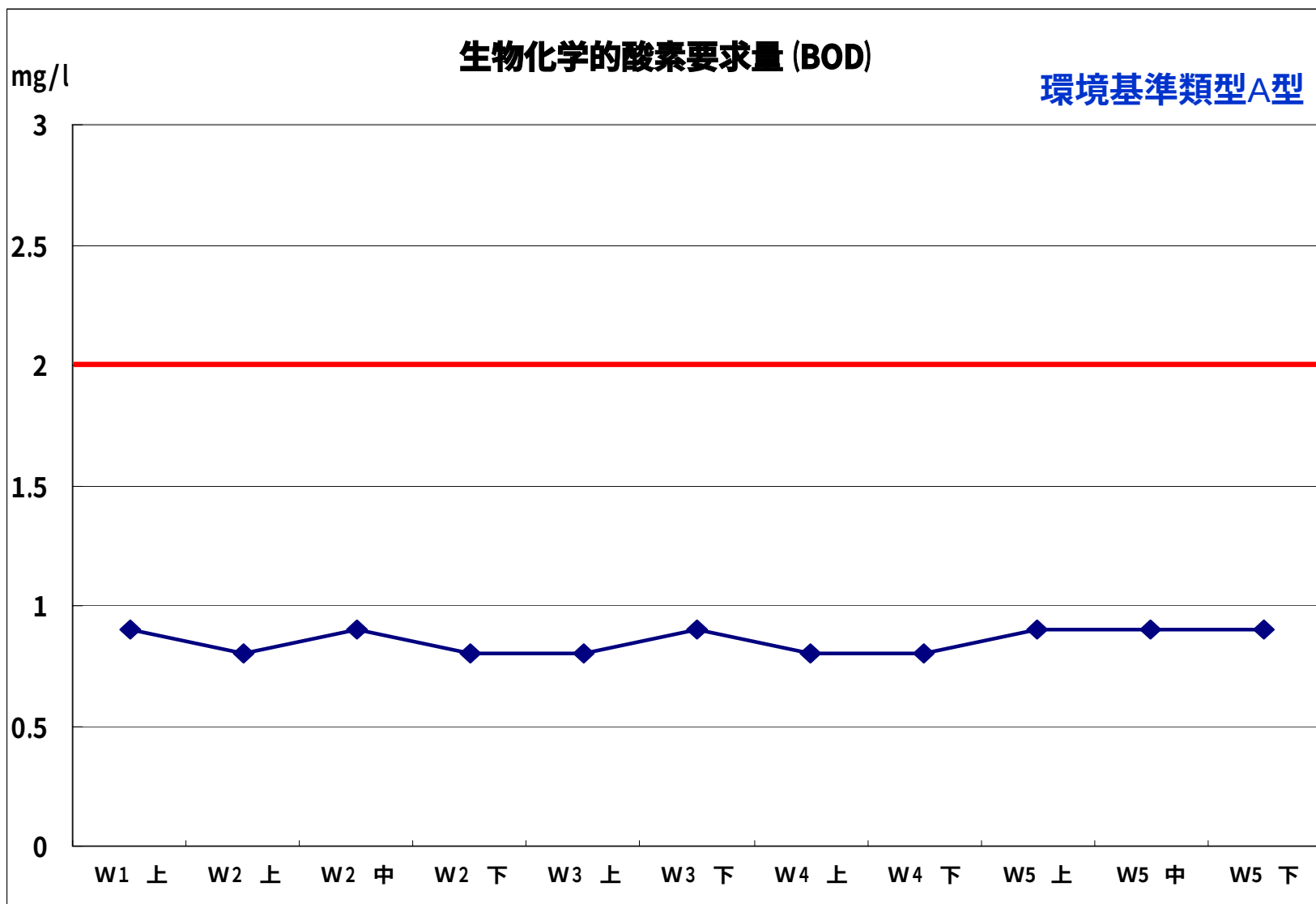
水質調査結果図

水質調査



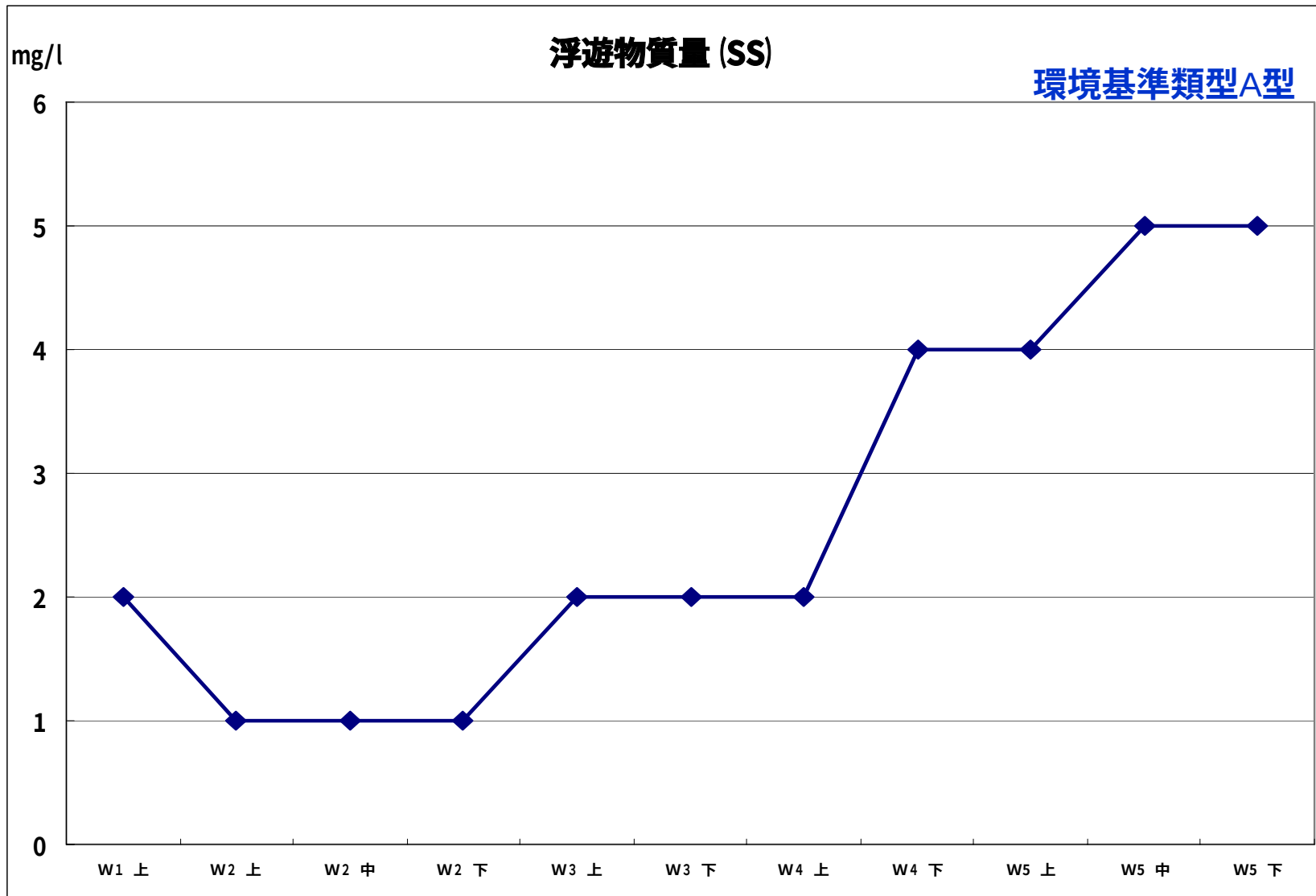
水素イオン濃度の環境基準は6.5以上8.5以下であり、基準を満足しています。

水質調査



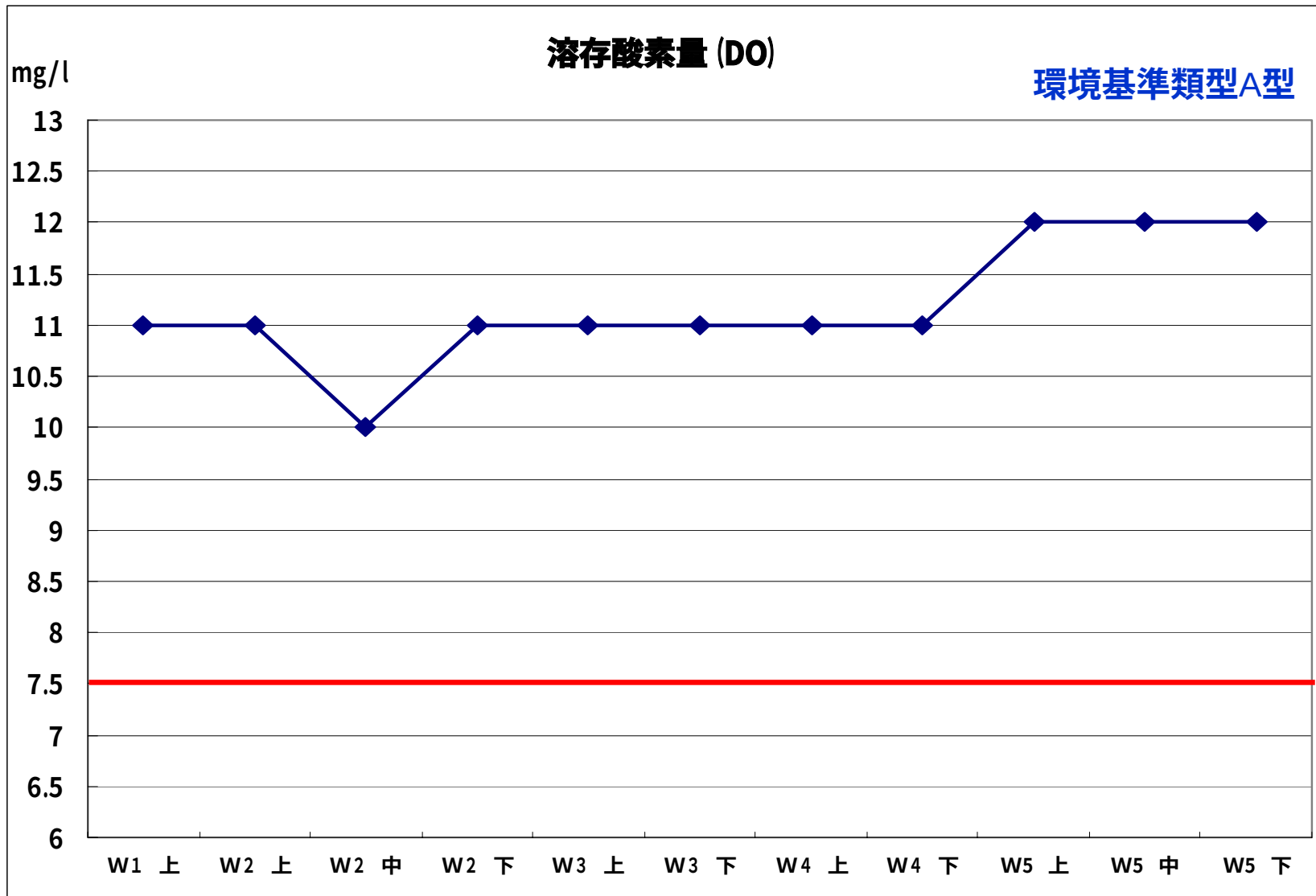
BODの環境基準は**2mg/l以下**であり、基準を満足しています。

水質調査



浮遊物質量の環境基準は**25mg/l以下**であり、基準を満足しています。

水質調査

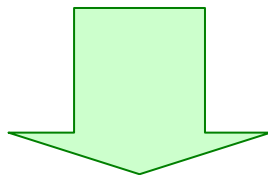


DOの環境基準は7.5以上であり、基準を満足しています。

湛水域調査のまとめ

調査結果まとめ

- ・河床材料は主に礫～石で構成されており、左岸の一部に砂～シルトが堆積
- ・浮泥の堆積量は少ないものの、島内堰周辺の石の表面やその間に堆積
- ・藻類の繁殖状況は範囲が狭く、量も少ない
- ・水質は環境基準を満足しており、良好な河川水質結果である



今回の調査は、冬季調査であるため、**夏季調査**及び**出水期後調査**を行ない、季節変化及び出水による変化を把握していきます。

日田の川とまちづくりの課題について

流量の課題

- ・洪水時における庄手川への過大分流による安全度の低下
- ・平常時の河川環境保全、河川利用及び景観に配慮した適性分派量の検討



流速が速く、流量も多い (庄手川)

水環境の課題

- ・堰湛水域の土砂堆積
- ・堰湛水域の水質の悪化
- ・景観の悪化 (藻類の繁茂)



オオカナダモに浮泥が付着

日田の川とまちづくりの課題について

河川環境の課題

- ・川らしい景観の再生
- ・水際の植生回復
- ・植生と生物の生息、生育環境の保全



コンクリートで固められた川

河川利用の課題

- ・水際の回遊性の確保
- ・河川へのアクセス、利便性の改善
- ・安全性、バリアフリーへの対応
- ・水面利用の促進



橋から遊歩道へのアクセスができない

日田の川とまちづくりの課題について

まちづくりとの連携の課題

- ・各地区間の連携強化
- ・日田の観光資源としての筑後川の活用
- ・伝統行事、イベント等での河川利用
- ・まちづくりの中での筑後川の位置づけ



川とまちが一体となったイベント (千年灯り)



温泉街と亀山公園と川の連携

河川整備のコンセプトとイメージについて

川づくりの目標

- ・治水安全度の確保 (適正な洪水分流)
- ・多様な植生と生物の生息・生育環境の保全
- ・かつての自然環境の再生
- ・湛水域の水環境の改善
- ・利用者が多い散策や釣り等の河川利用への対応
- ・環境学習の場としての利用
- ・周辺施設・景観との調和
- ・歩ける水辺＝分断されている動線を繋ぎ連続性の確保
- ・歩きながら川の魅力を感じる水辺づくり
- ・庄手川の流量低減と川の姿の改善

まちづくりの目標

- ・水郷日田の魅力＝水路を活かしたまちの魅力創出
- ・まちの中での「水の流れ」の重要性＝城内川の水質と景観の改善
- ・豆田町の歩行性の改善＝車の通行規制
- ・各地区間の連携強化
- ・既存地域資源を活かした動線の確立
- ・新たな地域資源の発掘 (まちの魅力再発見)
- ・宿泊客の増加促進 (通過型→宿泊型)
- ・地域資源を活用した仕組みの確立

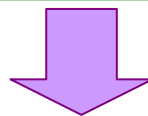
【川づくりとまちづくりの一体的な目標】

- ・暮らしの情景に溶け込んだ佇まい (川とまちのデザイン)
- ・ポイントを絞った「優れた (拠点の) デザイン」導入
- ・水辺の魅力とまちの魅力の一体化 (水辺に降りて時間を過ごせるような・・・)
- ・かつての舟運・川下り。筏流しなどの歴史の伝承

河川整備のコンセプトとイメージについて

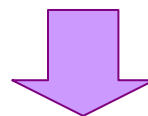
【川づくりとまちづくりの一体的な目標】

- ・暮らしの情景に溶け込んだ佇まい (川とまちのデザイン)
- ・ポイントを絞った「優れた (拠点の) デザイン」導入
- ・水辺の魅力とまちの魅力の一体化 (水辺に降りて時間を過ごせるような…)
- ・かつての舟運・川下り。筏流しなどの歴史の伝承



【基調となるデザインコンセプト (川とまちに共通)】

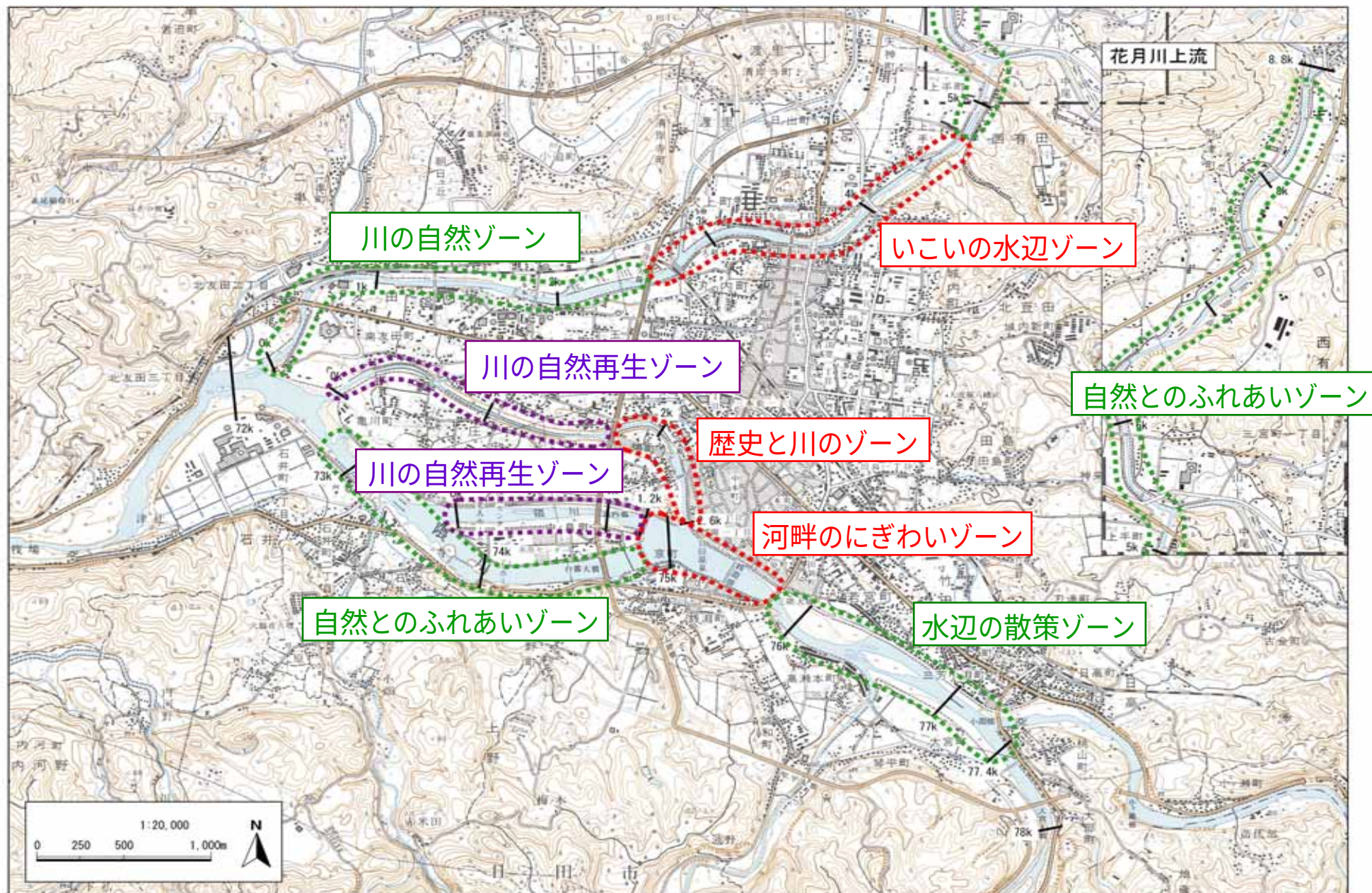
「水郷日田の歴史と暮らしの情景に溶け込んだ川とまちづくり」



【河川整備のコンセプト】

- ・洪水に安全な川づくり
- ・日田の歴史・文化・街並みと調和した川づくり
- ・川の自然環境の保全と再生を目指した川づくり
- ・水環境の改善を目指した川づくり
- ・日常的に人が集い水に親しめるような川づくり

全体ゾーニング図 (案)



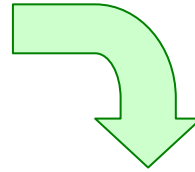
1.筑後川上流域 (大宮沈橋～三隈大橋)

～水辺の散策ゾーン～

自然を感じながら水辺の散策が楽しめる川づくり

河川整備の目標

- ・ツルヨシ主体の生物の生息・生育環境の保全
- ・利用者が多い散歩、釣り等の河川利用への対応



整備のイメージ (参考写真)



福島県・阿武隈川



現況

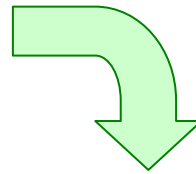
2. 筑後川中流域 (三隈大橋～分派点)

～河畔のにぎわいゾーン～

人々が河畔に集い、川を楽しむ川づくり

河川整備の目標

- ・歩きながら川の魅力を感じる水辺づくり
- ・日田温泉と一体となった景観保全と河川利用への対応
- ・観光利用がなされている湛水域の水環境の改善



整備のイメージ (参考写真)



岐阜県・長良川



現況

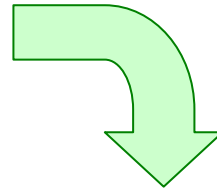
3.筑後川下流域 (分派点～合流点)

～自然とのふれあいゾーン～

川の自然にふれることができる川づくり

河川整備の目標

- ・多様な植生と生物の生息・生育環境の保全
- ・朝霧の館や中ノ島の施設と一体となった河川利用の促進
- ・周辺環境との調和



- ◆現状の良好な状態を維持していくような川づくり
- ◆河川利用を促進するような仕組みづくり



現況

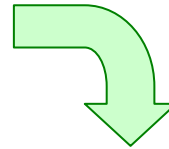
4.隈川(全川区間)

～川の自然再生ゾーン～

自然を再生し、体験学習が行える川づくり

河川整備の目標

- ・人工的な印象を受ける河川空間の改善
- ・かつての自然環境の再生
- ・朝霧の館や中ノ島の施設と一体となった河川利用の促進
- ・環境学習の場としての利用



整備のイメージ



現況

5.庄手川上流域 (みどり橋～浄明寺橋)

～歴史と川のゾーン～

現況

歴史を感じることができる川づくり

(左岸)



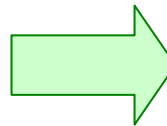
(右岸)



河川整備の目標

- ・隈の街並みと一体となった景観保全と河川利用への対応
- ・ポイントを絞った「優れた(拠点の)デザイン」導入
- ・かつての舟運・筏流しの歴史の伝承
- ・中の島堰による湛水域の水環境の改善

整備のイメージ



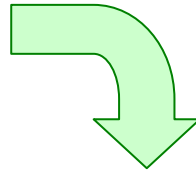
6.庄手川下流域 (浄明寺橋～合流点)

～川の自然再生ゾーン～

本来の川の姿を取り戻す川づくり

河川整備の目標

- ・流量・流速の適正化 (緩やかな流れ)
- ・かつての自然環境の再生
- ・水際の変化
- ・河川利用の促進



整備のイメージ



現況

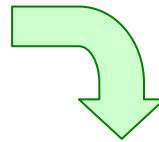
7.花月川上流域 (明德橋～夕田橋)

～自然とのふれあいゾーン～

川の自然にふれることができる川づくり

河川整備の目標

- ・治水安全度の確保 (左岸側築堤・河道掘削)
- ・水際へのアクセス改善
- ・現況のような植生と生物の生息・生育環境の保全と改善
- ・環境学習の場としての利用



整備のイメージ



現況

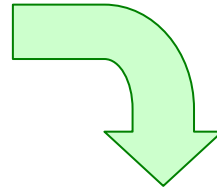
8.花月川中流域 (夕田橋～花月大橋)

～いこいの水辺のゾーン～

人が集い水辺でくつろげる川づくり

河川整備の目標

- ・豆田地区と一体となった環境保全
- ・散策等の河川利用に対応
- ・護岸、パラペットの修景



- ◆現状の良好な状態を維持していく
- ◆豆田地区と一体となった河川利用を促進して
いけるような仕組みづくり
- ◆周辺景観との調和



現況

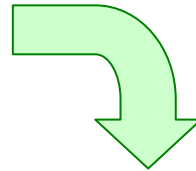
9.花月川下流域 (花月大橋～合流点)

～川の自然ゾーン～

生物にやさしい川づくり

河川整備の目標

- ・現況のような植生と生物の生息・生育環境の保全
- ・水際の変化と植生回復
- ・護岸、パラペットの修景



整備のイメージ (参考写真)

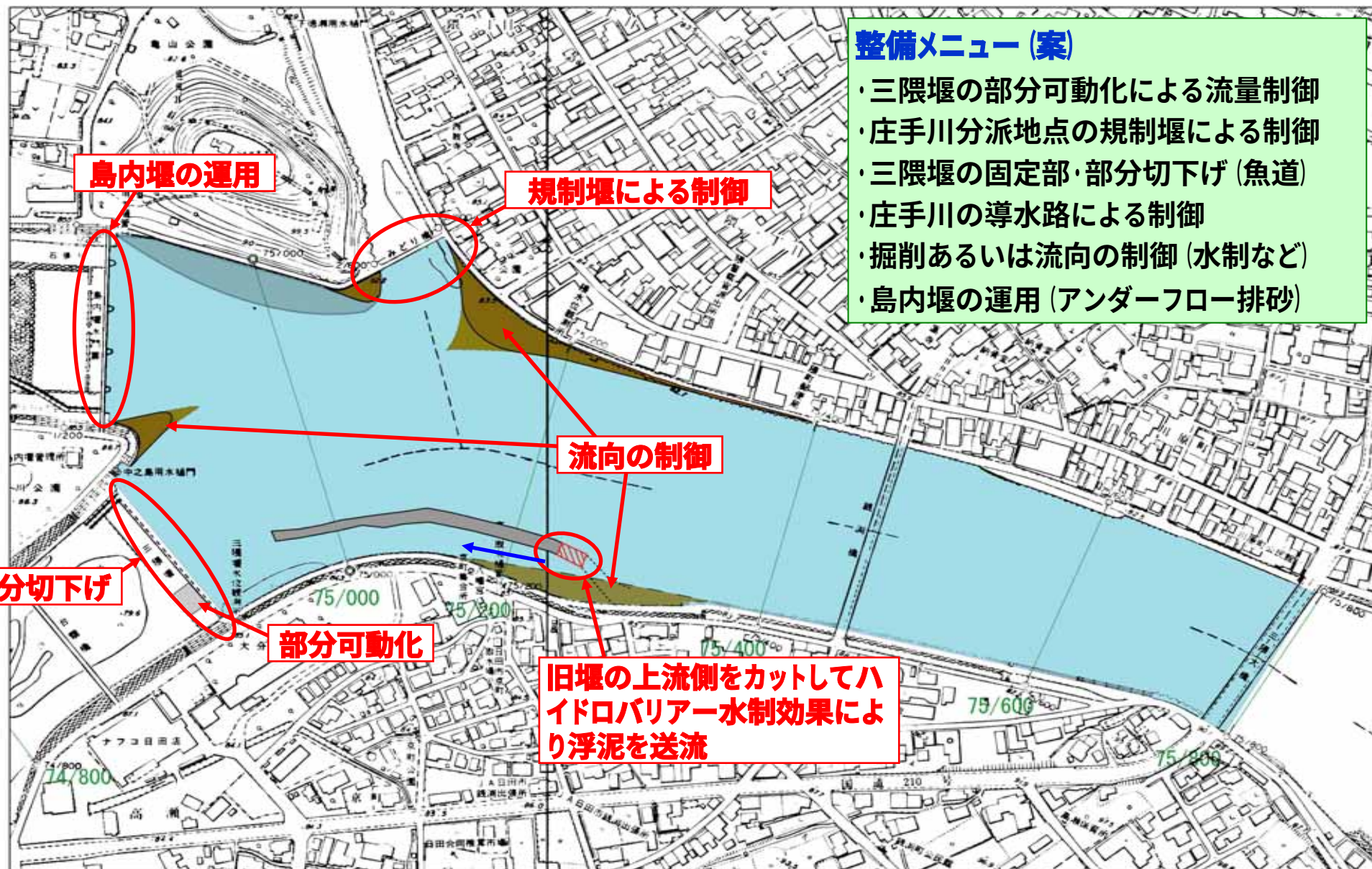


大分県・井崎川



現況

三川分派対策のイメージ



意見交換

日田地区における川づくり・まちづくりの課題を、地域の皆さんと再確認し、
未来へ残す**川の姿**・**まちの姿**について議論したいと思います。

そこで、

《テーマ》

日田地区の**川づくりプラン**について

というテーマで自由な発言をお願いします。

寄せられたご意見は、今後の懇談会にて解決策を議論していきます。